

tmux pipe-pane を利用した独立画面共有の手順

tmux の pipe-pane 機能と「名前付きパイプ」を組み合わせ、AさんとBさんが完全に独立した環境で操作しつつ画面を共有する方法を説明します。

準備：通信路（パイプ）の作成

まず、**AさんまたはBさん**のどちらかが、以下のコマンドを一度だけ実行し、通信路となる「名前付きパイプ」を作成します。

```
mkfifo /tmp/tmux_pipe
```

Bさんの操作：自分の画面を出力する

Bさんは**自分専用の tmux セッション**で作業を行い、必要な時に**Aさんへ画面を共有**します。

1. 通常作業

まず、Bさんは通常通り作業用のセッションを開始します。

```
tmux new -s b_session
```

2. 出力の開始

Aさんに画面を共有したいタイミングで、次の手順を実行します：

- **Ctrl-b → :** (コマンドプロンプトを表示)
- 以下のコマンドを入力して Enter：

```
pipe-pane 'cat > /tmp/tmux_pipe'
```

この操作で、**現在のペインの出力が /tmp/tmux_pipe に送られる**ようになります。

3. 出力の停止

共有を停止するには、再度コマンドモード (**Ctrl-b → :**) に入り、以下を入力：

```
pipe-pane
```

これで**パイプへの出力が停止**します。

Aさんの操作：Bさんの画面を表示する

Aさんは、**Bさんの出力を表示するための準備**を行います。

1. 画面の準備

Aさんも自分専用の **tmux** セッションを開始します：

```
tmux new -s a_session
```

次に、**Ctrl-b** の後に **%**（左右分割）や **"**（上下分割）で**ペインを分割**します。

2. 表示の開始

Bさんの画面を表示したいペインに移動し、以下のコマンドを実行します：

```
cat /tmp/tmux_pipe
```

このコマンドにより、Bさんが **pipe-pane** を開始すると**その内容がリアルタイムで表示**されます。

補足

- この方法では、**tmuxセッション自体は共有されない**ため、お互いに独立して作業できます。
- パイプファイルのパーミッションに注意してください（必要に応じて **chmod** を利用）。